

2025年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】				
授業科目名	障がい者の生活支援		教員氏名	中野陽子
科目ナンバー	Ⅲ-6-1-2			
学年	専攻科		開講学期	後期
授業形態	講義		単位数	2単位
必修・選択	専攻科		実務経験	社会福祉士 7年
テーマ	障がいの基礎理解と障がいのある人の生活支援について学ぶ			
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。			○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。			
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。			
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構築する		
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養う		
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者と高齢者を取り巻く環境を知り、様々な介護の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける		○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながらキャリア形成の基礎を培う		
授業の概要	障がいの基礎的理解を行う科目である。障がいの概念、基本理念、障がい者福祉の現状と施策、障がいのある人の心理等について学ぶ。			
授業の到達目標	①障がいの概念や基本的理念について理解し習得できる。			
	②障がい者福祉の現状と施策を理解し説明できる。			
	③障がい福祉現場への見学を通じて障がい者福祉サービスの現状を理解し考察を深めることができる。			
テキスト	新・介護福祉士養成講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著			
参考書	なし			
ポートフォリオ	授業内で指示する。			
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする			○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する			
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める			
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する			
	その他:			
成績評価方法	区分	割合(%)	内容	
	定期試験	0	実施しない	
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	総括テスト(40%)、授業に臨む姿勢(小テスト・課題等含む)(60%)	
	その他			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション 障がいの定義 障がいの捉え方	
	授業外学習	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第2回	テーマ 内容	ICF 障害者の数 障害福祉サービスのしくみ	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第3回	テーマ 内容	障がい者福祉の基本理念 意思決定支援	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第4回	テーマ 内容	障がい者福祉の現状と施策 障害者総合支援法	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第5回	テーマ 内容	松ヶ丘園見学 予習	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第6回	テーマ 内容	松ヶ丘園見学	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第7回	テーマ 内容	松ヶ丘園見学 振り返り 障害者虐待防止法 障害者差別解消法	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第8回	テーマ 内容	過去問実施 解説 調べ学習	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第9回	テーマ 内容	テストの振り返り 知的障害	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分

第10回	テーマ 内容	障がいのある人の心理 連携と協働 精神障害	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第11回	テーマ 内容	発達障害 パーキンソン病 視覚障害 ALS 筋ジストロフィー	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第12回	テーマ 内容	テストの振り返り 高次脳機能障害	
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ 障がい者の生活支援の学びを総括する	
	授業外指示	この科目の学びを総括し復習する	55分

課題に対するフィードバックの方法

小テスト等を実施し、その解答解説を口頭およびパワーポイントにて行う。